



◀ 熟度具合を確かめながら一つひとつ丁寧に収穫する市丸竹子さん

楽しく、こげやかに、みんなで茶摘み

中部小全児童が体験

中部小学校児童は5月7日、学校近くの茶畑で恒例の茶摘みを行い、体験を通し、地域の人々に支えられていることも学びました。

体験したのは、全児童191人。一齐に茶畑に入ると「いい香りがする」と言って新芽がどんな味がするのか口にしたり、「いっぱい摘んだけどなかなか増えなくて、大変だなあと思ったけど楽しい」と話したり、賑やかな声を響かせながら、緑色の若葉を丁寧に摘み取りました。

コンテナに集めた43kgの生茶葉は、地元の孔子園製茶に運ばれ製茶。約3週間後に仕上がり、児童の家庭で味わい、お世話になる公民館などにも贈ります。

塚本泰徳校長は「茶畑は専称寺さん、管理と加工は孔子園製茶さん、陣内清治さんに茶摘みを指導して頂き、毎年地域の方々のご好意に支えられて貴重な体験ができます」と感謝されていました。



▲18班に分かれ、摘み取り量も競った茶摘み

県内トップを切って出荷

あま〜く、おいしい桃

多久市は県内一の桃の生産地で、67戸の農家が栽培されています。ミカンの転作として進み、15戸ではハウスも導入。5月10日、そのハウス桃の出荷が県内トップを切って始まりました。

甘い香りが漂う市丸義征さん（南多久町桐野）のハウスでは、収穫期を迎えた桃がたわわ。温度管理や樹に光が当たるよう枝を整理する作業に気を付け、いっそう糖度が上がるよう、光を反射する白いシートを敷き、高品質の桃生産をされています。市丸さんは「玉伸びも甘さも十分に仕上がり、高品質の桃を多く出荷できそう」と話され、家族で丁寧な収穫・出荷作業をされていました。

市内では加温ハウス、無加温ハウス、露地桃と順に7月下旬まで、福岡県や宮崎県など県外を中心に出荷。多久産桃は、市内の農産物直売所でもお買い求めできるそうです。

飯盛康登さんが 県政功労者表彰を受賞

5/8



今年度の県政功労者表彰式が佐賀県庁で行われ、34年間、少年補導員として地域の防犯活動に取り組まれる飯盛康登さん（北多久町中の原）が治安維持部門で受賞されました。

飯盛さんは、家業の傍ら、商工会会長や交通安全指導員など多方面で活躍。昨年は、(社)全国少年警察ボランティア協会から少年補導栄誉銅賞も受賞されており、「みなさんや家族の支えがあったおかげ。これからも地域の子どもたちを守り、郷土のために尽くしたい」と話されました。

2年連続 『洋々クラブ』が優勝

4/28



高齢者スポーツ大会（主催：多久市老人クラブ連合会・梶原信久会長）が多久市体育センターで行われました。

市内全地区より13老人クラブ541人が参加し、玉はこび・スリッパ飛ばし・ピン倒しや、こぼと保育園の園児とのカードあわせゲームなどがあり、元気に熱戦が繰り広げられました。優勝は、2年連続洋々クラブ（メイプルタウン）でした。